

令和7年度事業報告書

- 1 委託児童数 定員 60名(年間 720名)
実績児童数 延人数 705名

・4月当初、児童数56名からのスタートだったが、途中入園が6名となり、うち0歳児の途中入園は4名の受入れとなった。

保育児童数調書(別紙 1)

2 職員構成

<正職>

・園長 1名 ・主任保育士 1名 ・副主任保育士 1名
・保育士 8名 ・栄養士 1名

<嘱託>

・統括主任 2名 ・内科医 1名 ・歯科医 1名

<準職>

・調理師 1名 ・調理員 1名

<短時間>

・保育士 3名

*職員自身或いは家族の感染症罹患などにより休んだ際には、シフト調整や保育など全職員で補い協力しながら、子どもたちが安全に過ごせるよう留意した。

3 職務分担

○各々の職務分担において計画書を作成し、実施報告と共に振り返りを行った。自身の担当のみではなく状況を全員で共有し合うことにより園全体に目を向けることが出来た。

事務分担表(別紙 2)

4 保育方針

・キリストの精神に基づき、明るい健全な心身の育成に奉仕する事を目的とし、宗教心、社会性、基本的生活習慣を育てていくよう努めた。

5 保育要領

(1)保育課程

- ・保育指針に基づき、キリストの精神理念をふまえた保育目標の達成の為、独自の保育課程を職員全員で周知し実行に努力した。
- ・年度初めに保護者に対して配布、説明し理解協力を仰いだ。

(2)保育目標

「4つの心」あいさつ、ありがとう、あやまりあう、あたえあう心づくりに努めることを基本に、各月毎に目標をたて、共に成長していけるよう、園だより(杉の子通信)に掲載し、保護者に理解、協力を仰ぎながら、保育に努めた。3歳以上児は毎月、静修の日を設け、月の目標にそった話を園長が行った。

(3)保育時間

- ・開園時間は朝7:00より夕方19:00
保育標準時間認定 7:00~18:00
保育短時間認定 8:00~16:00
- ・認定時間以外の時間は延長保育となる。
大崎市の承認を得て、登録制で実施した。登録がない場合でも、保護者の仕事の都合により受け入れた。
- ・土曜日は保護者の仕事が休みのところが多く、子どもと触れ合う時間を持ってもらう為、両親共出勤の場合に「土曜保育申請書」を提出してもらったうえで保育を行った。

6 年間行事実施状況

- 老人施設訪問では、歌や踊りを披露し、利用者さんに喜んでいただくことが出来た。また、核家族の子ども達にとって利用者さんとの触れ合いはとても貴重な体験となった。
- 保育参観は、普段の保育の様子を見てもらった。
その際、子育て講演会を開催し保護者・職員共に子育てについての学びを深めた。
- 運動会は、1歳以上児が小学校の体育館で行った。祖父母も交え、みんなで楽しいひと時を過ごせた。
- クリスマス祝会は2部構成とし、観客を入れ替えて開催した。人数制限を緩めたことにより祖父母の方にも子どもたちの成長を見てもらえた。
- 宮城県サッカー協会に依頼して行っているサッカー教室は、例年通り5回実施。
総仕上げとして当法人の川渡カトリック保育園と交流試合を行った。また、保育活動の交流も行い、思いやりや視野の広がりを育てることができた。

7 給食実施状況

- 保護者との対話を通して、一人ひとりに配慮するよう心掛けた。実際に食べている様子を見ると、聞き取りと異なることも多く、難しいことも多かった。今後、安全に食事を提供できるよう、慎重に食事状況の確認と保育園での提供の仕方、配慮の仕方を工夫していきたい。
- アセスメントが必要な園児に対して、計画書を作成した。アレルギー児に対しては大崎市に除去申請したうえで一人ひとりに合わせた食事の提供をした。肥満の子どもに対しては、食事のルールを決め、体重の増加を緩やかにする努力をした。
- 食育では、年齢に合わせた内容で、食具の持ち方や食べ物の働き等についての指導やクッキングを行った。。

給食施設栄養管理報告書(別紙 4-1)(別紙4-2)

8 職員研修状況

- 園内外ともに研修への積極的参加、充実を図った。月の定例会議において復命をおこない、学びを深めた。
- 主体性を育むため、職員相互参観を試み互いの保育について評価し合った。

9 施設・設備等の整備状況

- 度々器具備品に不具合が生じ、修理・交換を行った。
(厨房機器・器具の修理や点検、誘導灯の交換、音響機器の交換、戸当りの補修など)経費削減に努めながら対応した。

10 避難訓練関係

- 職員で不審者を想定しての訓練を実施した。同時に警察署への通報訓練を行った。
- 消防署員の立ち合いの下、避難訓練を行い、その後職員の水消火器での訓練、3歳は消防車両に乗車したり、積載されている器具を見せていただき消防士の仕事に興味関心を持つことが出来た。5歳児が消防服を着ての写真撮影などを実施した。また、5歳児は幼年消防士の任命を受け1年間火の用心の啓発に努めた。
- あらゆる場面を想定し避難訓練を行なった。

避難訓練実施報告書 (別紙 5)